

# 「うちどく」 って何をすればいいの？

決まりはありません。基本は、“読んだ本について家族で話す”ということだけです。それぞれの家庭の事情に合わせて、習慣的に本の会話を楽しみましょう。同じ本を読めば、会話が一層盛り上がります！

## うーんと大人が楽しもう！

何よりも、まず大人が本に触れ、本を楽しむことが一番！「本を読ませよう」とするのではなく、「子どもと一緒に本を楽しもう」という姿勢が大切です。



## ちがいがOK！わが家のスタイル。

「うちどく」のやり方には、むずかしい決まりはありません。各家庭の生活にあった方法で、読書を楽しみましょう。

例えば…

- 取手市子ども読書の日（毎月23日）の前後の○曜日は「読書の日」と決めて家族で読書をする。
- 家族で回し読みをする。
- 親が子どもに、子どもが親に読み聞かせをする。



## どれどれ一緒に本選び！

本を選ぶときは、子どもたちの意思を尊重しましょう。

家族で図書館や書店に出かけ、一緒に本を選んでみてはいかがでしょうか。



## 「ほんくる」を本選びのツールにしよう

市立小中学校と市立図書館の連携事業「ほんくる」\*により、学校図書館の本はもちろん市立図書館の本も、ご家庭のパソコンやスマートフォンを使って予約し、学校で借りることができます。



\*市立小中学校在籍の児童・生徒（教職員含む）限定サービスです



## 取手市子ども読書の日制定記念 講演会

「うちどく」で家族のコミュニケーションづくり！

もっと詳しく！  
スペシャリストに  
聞いてみよう！

- ◆ 日 時：10月10日（水）13:30～15:00
- ◆ 場 所：取手市立ふじしろ図書館 2階集会室
- ◆ 内 容：「うちどく」の楽しみ方や効果を詳しくご紹介します！
- ◆ 講 師：家読推進プロジェクト代表 佐川 二亮氏
- ◆ 定 員：当日先着60名（申込不要）
- ◆ 料 金：無 料
- ◆ お問合せ：取手市立取手図書館（TEL 0297-74-8361）

### 〈講師プロフィール〉 佐川 二亮氏

1947年福島県生まれ。  
子ども司書推進プロジェクト顧問。  
朝の読書推進協議会名誉顧問。  
元文部科学省「子供の読書活動推進に  
関する有識者会議」委員。